

「障害の特性を考慮した介助みがきの指導」チェックリスト

	項 目	行 動 目 標	評 価
1	介助みがきの目的/口腔機能向上	口腔ケアの重要性を説明できた	
		介助みがきの目的・効果を把握している	
2	個人を尊重・導入	自己紹介した	
		介助者及び対象患者を確認した	
		本日の目的を説明できた	
3	患者情報を把握する	ライフステージ・キーパーソンを聴取した	
		障害特性を説明できた	
		発達年齢・レディネスを把握した	
4	介助みがきに必要な配慮	配慮する点を把握して、説明できた (口腔緊張、低緊張、過敏、呼吸機能、嚥下機能、脱感作等)	
		介助みがきのリスクと対応について説明できた (過開口、粘膜損傷、歯牙脱臼、誤嚥、吸引、排唾)	
5	学習理論に基づく介助みがき立案	介助みがき指導に必要な学習理論を把握している	
		現在の介助みがきの状態を観察して良い点を強化した	
		現在の介助みがきの課題を挙げて説明できた	
		課題を基に指導内容を指導歯科医と立案した	
6	介助みがきの準備方法及び介助 みがき時の環境設定・タイミング	使用器具を理解して適切な器具を選択できた	
		適切な開口保持を選択して使用方法を説明した	
		口唇、頬粘膜の排除の仕方を説明できた	
		安全な介助みがきの環境・タイミングについて提案した	
7	介助みがきの説明	介助みがきの姿勢を説明して正しい方法を選択できた	
		立案した介助みがきの方法を説明できた(模型の使用)	
8	感染対策	十分な感染対策を行った	
9	介助みがきの評価	介助みがきの評価項目を把握している	
		介助みがきの評価期間を設定して介助者に伝えた	
		介助みがきの達成度・問題点を評価して改善点を説明できた	
合計点数			/24